学校番号	212

令和3年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ａ	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	新版　数学A　新訂版　（実教出版）						
副教材等	スパイラル数学Ｉ＋A 新訂版（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ(学習方法等)

数学は問題の意味を理解して解くことが重要です。教科書の他に副教材のスパイラルも用いて,問題の分からない部分を克服しましょう。ただ答えを求めるだけでなく,途中式や考え方も書くようにしましょう。また,各自答え合わせをすること。答え合わせは自分がどこでつまずいたかを知るために大切なものです。単なる「採点」にならないよう注意してください。答え合わせをしたらもう一度その問題にチャレンジし,何も見ずに自分の力だけで解けるようになるまで何度も繰り返しチャレンジしてください。問題集を解く際は問題集ノートを用意し,担当の先生の指示に従って提出しましょう。

2　学習の到達目標

・場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質についての基礎的な知識や技能を習得する。
・様々な事象を数学的に考察する能力を培い,数学のよさを認識できるようにする。
・数学を問題の解決に活用する態度を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心･意欲･態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識･理解
観点の趣旨	場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的･発展的に考えたりすることなどを通して、場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質における数学的な見方や考え方を身につけている。	場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。	場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質における基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身につけている。
評価方法	･提出物 ･授業態度	･定期考査 ･小テスト	･定期考査 ･小テスト	･定期考査 ･小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期中間	1章　場合の数と確率	1節 場合の数 1. 集合と要素 2. 集合の要素の個数	 ○ 	 ○	 ○ ○	 ○ ○	a: 集合について関心をもち，進んで学ぼうとする。集合の要素の個数などに関心をもち，具体的な事象を調べようとする。 b: 集合の要素の個数の関係を用いて，具体的な事象を考えることができる。 c: 身の回りの具体的な事象を通して，樹形図や表を用いて場合の数を数えることができる。積の法則や和の法則について理解できる。 d: 集合と要素の基本的な知識が身に付いている。場合の数を求めるための基本的な知識が身に付いている。	提出物 授業態度 定期考査 小テスト
一学期期末		3. 場合の数 4. 順列 5. 組合せ	○ ○ ○	○ 	 ○ ○	○ ○ ○	a:場合の数を順序良く整理し，調べようとする。また，順列や組合せの考え方が使われる場面を見いだし，意欲的に活用しようとする。 b:起こりうる場合について，正確に効率よく数え上げる方法を見いだす。 c:順列，組合せについて，数学的に考察して計算したり，推論することができる。 d:場合の数，順列，組合せについての基本的な概念，法則・定理，用語・記号などを理解して，順列や組合せの総数を求められる。	提出物 授業態度 定期考査 小テスト
二学期中間		2節 確率 1. 事象と確率 2. 確率の基本性質	 ○ 		 ○	 ○ ○	a:確率の考え方のよさを認識してそれらをいろいろな事象の考察に活用しようとする。また，反復試行の確率，条件つき	提出物 授業態度 定期考査 小テスト

二学期期末		3. 独立な試行とその確率 4. 条件つき確率と乗法定理	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	確率の考え方に関心を持つ。 b:事象を数学的にとらえ，論理的に考えるとともに，思考の過程を振り返り，多面的・発展的に考えることができる。 c:事象を表現し，処理する仕方や推論の方法を身につけ，的確に問題を解決できる。 d: 確率についての基本的な概念，法則・定理，用語・記号などを理解して，反復試行の確率，条件つき確率を求められる。	提出物 授業態度 定期考査 小テスト
三学期	3章 図形の性質	1節 三角形の性質 1. 三角形と線分の比 2. 三角形の重心･内心･外心 3. メネラウスの定理とチェバの定理	 ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○	a:三角形や円における図形の性質について，その美しさを味わったり，図形を多面的にとらえようとする。 b:図形の性質を論理的に考えるとともに，思考の過程を振り返り，多面的・発展的に考えることができる。 c:図形の性質を的確に表現できる。 d: 三角形と円の性質ついての基本的な概念，法則・定理，用語・記号などを理解し，基礎的な知識を身につけている。	提出物 授業態度 定期考査 小テスト
		2節 円の性質 1. 円に内接する四角形 2. 円の接線と弦のつくる角 3. 方べきの定理 4. 2つの円	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。